

所管課		市民生活部自治振興課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第4章 安全安心都市			02 防犯			01 防犯体制を充実する										
事業：防犯対策事業													整理番号	0391			
目的	防犯灯の整備を通じて防犯環境の向上に努める。																
目標	夜間の犯罪の発生を防止するため、防犯灯の整備を進め、大阪一犯罪の少ない都市をめざす。																
事業費・財源	事業費（決算額）（千円）		32,348		コスト情報・評価	総コスト（千円）		39,569		総合評価	B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		32,348		内訳	事業費		32,348			効率性		A			
		国府支出金		0			人件費		7,221			有効性		B			
		地方債		0			公債費		0		犯罪発生件数を目標よりさらに減らすことはできたが、大阪一犯罪の少ない都市となるよう、さらなる防犯対策が必要なため。						
		その他特定財源		0			一人あたり（円）		351								
							世帯あたり（円）		839								
	評価理由																
貢献度	施策に対する事業貢献度		B		根拠	犯罪発生件数を目標よりさらに減らすことはできたが、大阪一犯罪の少ない都市となるよう、さらなる防犯対策が必要なため。											
今後の方向性	LED防犯灯を導入するための制度設計を検討する。																

事業 優先順位		1	細事業：防犯灯設置・維持管理事業					整理号		01
目的		自治会・町会等が管理する防犯灯の設置・交換及び集落間防犯灯の維持管理を行う。								
目標		年間犯罪発生件数1,100件以下								
事業 実施主体		直営	事業開始 年	昭和59年度以前	根拠 法令					
事業費・財源			平成24年度	比 較	コスト 情報・従事 職員数 参考			平成24年度	比 較	
	事業費（決算額）（千円）		8,426			総コスト（千円）		13,028		
	財源 内訳	一般財源	8,426			内 訳	事業費	8,426		
		国府支出金	0				人件費	4,602		
		地方債	0				公債費	0		
		その他特定財源	0				一人あたり（円）	115		
			0				世帯あたり（円）	276		
			0				職員数（人）	0.58		
			0				再任用職員数（人）	0.00		
	今後の方向性									
自治会管理防犯灯については、平成26年度からのLED化をめざし、平成25年度中に制度設計を行う。 集落間防犯灯については、平成24年度までに391灯をLED化しており、平成25年度中のLED化終了をめざす。										
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	自治会、町会等					
	A	A	A							

事業：防犯対策事業

防犯対策の一環として、まちを明るくし、夜間犯罪を防止するため、防犯灯の整備を進めた。自治会などの申請に基づいて防犯灯の新設・交換・撤去を行ったほか、市管理防犯灯の適正な維持管理に努めた。また、自治会などの防犯灯管理コストを軽減するため、防犯灯維持管理費補助金を交付した。

細事業：防犯灯設置・維持管理事業

1. 防犯灯の設置

自治会などの申請に基づき、３９３灯の防犯灯を新設・交換した。また、１１件の老朽化した防犯灯や小柱を撤去した。

工事費 ６，３６８，３８９円

申請自治会数 延べ６８自治会

＜防犯灯設置等工事内訳＞

（単位：灯）

工事種別	器具新設			器具取替	器具撤去	計
	電柱添架	小柱添架	その他			
灯 数	８２	１４	１	２９６	１１	４０４

2. 集落間防犯灯の維持管理

自治会で管理できない、集落と集落の間の防犯灯である集落間防犯灯（６５４灯）について市で維持管理を行った。平成２４年度中に１９８灯をＬＥＤ防犯灯に交換したため、平成２３年度以前の１９３灯と合わせ、３９１灯がＬＥＤ化されている（施工費用は設置工事費を使用）。

電気料金 １，９５７，１５６円 （参考：平成２３年度 ２，１２２，１７２円）

修繕費等（器具取替、球交換等） ９２，１０５円



消費電力が少なく、長寿命のＬＥＤ防犯灯（写真左）、右は従来型の水銀灯式防犯灯